

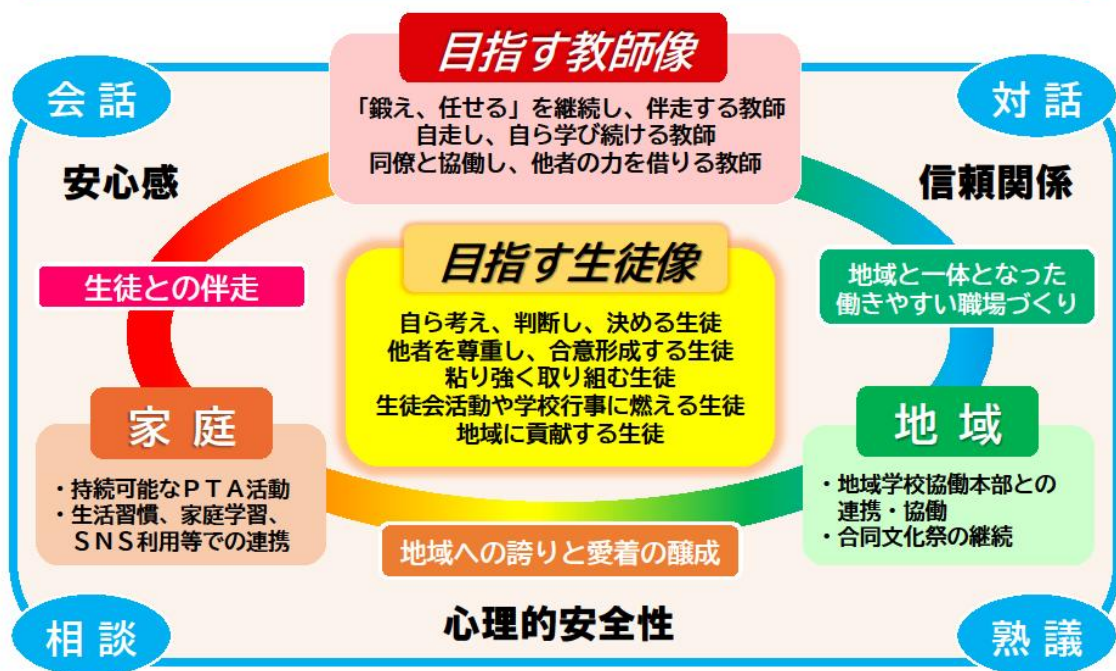
令和7年度 教 育 計 画						学校番号 228	
伊方町立瀬戸中学校							
校長名	楠井 徳久	学級数	3	生徒数	21	教職員数	9



学校の教育目標
自律・共生
 ～「自己決定」「高め合い」ができる生徒の育成～

目指す学校像

地域に貢献し、未来を切り拓く力を育む学校
 生徒・教職員共に心理的安全性の高い学校
 教職員が働きやすく、働きがいを実感できる学校
 保護者・地域に安心感を与えられる学校

重点目標	1 自律性の高まりを目指した学校づくり (1) 認知能力と非認知能力の両面をバランスよく伸ばすことを意識した指導に努める。 (2) 自己調整しながら粘り強く学習に取り組む生徒の育成に努める。 (3) 対話や合意形成の場を充実させ、深く考え、自己決定し、自他を高め合おうとする生徒の育成に努める。 (4) I C Tの効果的活用や少人数指導の良さを生かした授業改善を行う。 (5) 特別活動での創造的な取組等、生徒の自治的活動を支援する。 (6) デジタル・シティズンシップ教育を通して、自律性の高まりを目指す。 2 共生を目指した学校づくり (1) 学校全体の人権感覚を高め、いじめが起こりにくい風土を築くために発達支持的生徒指導を重視した教育活動を推進する。 (2) 自他を尊重する心を育み、自己存在感の高まりを目指すために、人権・同和教育、道德教育、特別支援教育の充実を図る。 (3) 自他の生命を守るため、実践力向上を目指した防災教育を推進する。 3 地域へ貢献する学校づくり (1) 総合的な学習の時間等を通して、地域と触れ合う機会を充実させる。 (2) 地域と連携したライフキャリア教育を通して、郷土愛を育む。 (3) 地域学校協働本部やP T A組織との連携・協働の更なる充実を図る。
管理運営	1 人的管理 (1) ワーク・ライフ・バランスと教職員間の信頼関係を基盤とした、心理的安全性の高い、働きやすく働きがいのある学校を目指す。 (2) 不祥事防止に向けて教職公務員としての信用の保持に努め、教職員の日々の状況把握や注意喚起に努める。 (3) 公民館と共同開催の行事や地域学校協働活動の充実を通して、地域と一体となった業務改善を推進する。 2 物的管理 (1) 定期的な安全点検と潜在的危険個所の早急な除去に努める。 (2) 施設・設備、備品及び薬品の安全かつ効果的な活用に努める。 3 事務管理 (1) 事務処理の効率化、適正化を目指し、学校事務室との連携を密にする。 (2) 個人情報適切な管理と諸会計の厳正な処理に努める。
本校教育の特色	1 地域の公民館と共同開催の文化祭や、総合的な学習の時間の「I M Oプロジェクト」(さつま芋を使った地域活性化の活動)を通して、地域貢献、生徒の郷土愛の育成に努めている。 2 町指定の情報教育推進校として、I C Tの有効活用や近隣校との学校間交流に努め、年に一度、その成果を発信している。 3 日本で最も細長い佐田岬半島及びメロディーラインの中間にあり、北は瀬戸内海、南は宇和海に接し、近隣には佐田岬半島ミュージアムが設置されているなど、自然・文化面ともに資源豊富な地域に位置する学校である。

